

## 文部科学省の法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラムの審査結果において、予算配分率 120%の評価を得ました

令和 2 年 1 月 24 日付けで、文部科学省の標記審査結果（2020 年度分）が公表されました。神戸大学法科大学院は、累積合格率等の指標に基づいて基礎額算定率 90%が認められる第 1 類型該当校に分類され、加算に係る総合評価として S 評価を受け 30%の加算が認められたことで、120%の予算配分（同率第 1 位）が認められました。審査結果の詳細は、文部科学省ウェブサイトの「[法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラムの審査結果について](#)」をご覧ください（加算プログラムについては PDF リンクの 2 頁を、加算率の一覧は 6 頁を、神戸大学法科大学院の全体構想と工程表は 9-10 頁を参照）。

今回の審査は、以下の 5 つの取組の実施状況と改善提案が評価されたものです。

- ①法曹コースを中核とした学部・L S 一貫の既修者教育スキームの構築
- ②未修者スタートアップ・プログラムとその拡充による総合化
- ③広島大学法科大学院の司法試験合格率向上に向けた組織的支援
- ④法曹の職域拡大に向けた「次世代型・グローバル・ビジネスロー教育」プログラム
- ⑤「次世代型実務家教員」の養成を視野に入れた新しい継続教育

取組の詳細については、本 HP「概要>加算プログラム」からご参照ください。

神戸大学法科大学院は、機能強化構想に基づきこれら 5 つの取組を着実に実現していくことで、より質の高い教育を実施し、実績を積み上げていきたいと思っております。

2020.1.31